

広島県中小企業団体中央会 2015年4月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

4月の出荷量は前月比20.9%増加、前年同月比10.7%増加、売上高は前月比21.1%増加、前年同月比9.2%増加となった。

昨年4月は消費税増税前の駆け込み需要の反動減により、前年同月比は増加した。曜日の関係で、ゴールデンウィーク前の駆け込み需要もあり、4月は一時的に出荷量、売上共に増加したが業界の景況が悪いことに変わりはない。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成27年3月の全国新設住宅着工数は、69,887戸では前年同月比では0.7%増加となった。季節調整済年率換算値では92.0万戸（前月比1.7%増加）となった。利用関係別にみると、持家は21,352戸で前年同月1.4%減少、分譲住宅は17,560戸で前年同月4.9%減少、貸家は30,243戸で前年同月4.6%増加となった。木造住宅着工数は、38,252戸で前年同月3.7%増加となった。

住宅着工の動向については、昨年4月の消費税増税前の駆け込み需要の反動減もあり、このところ前年同月比で減少が続いていたが、今月は13ヶ月ぶりに増加となった。

持家(注文住宅)の着工については、先行指標となる展示場来場者回復の兆しが見られる。住宅着工については、今般の経済対策等を踏まえ今後の動向を注視する必要がある。

広島県内の着工数は1,488戸で前年同月比15.7%の増加となった。その内訳としては、持家が429戸で前年同月3.4%の増加、貸家が721戸で前年同月47.4%の増加、分譲が334戸で前年同月11.9%の減少であった。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

前月同様に厳しい状況が続いている。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

円安の進行にもかかわらず、国内の景況感に改善の兆しは感じられない。特に自動車業界においては、自動車メーカーの好決算に対し、部品メーカーは国内生産台数の減少やプライスダウン要請、原材料や人件費の高騰を受け、大変厳しい状況にある。

平成27年においても、円安効果には疑問を感じている。今後アメリカの金利の引き上げが実施されると、更なる円安を招き、国内の物価上昇、国債の信認低下が起きる可能性も考えられる。今は、安心して国内で雇用拡大、投資拡大を行う雰囲気ではない。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は全体的に横ばい傾向にある。自動車関連企業は若干増加傾向にある。原油市況の低迷で樹脂市況も落ち着いているが、今後原油市況が値上げに転じた場合の不安は残る。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

27年4月 2,808 m³ (対前年比 16.6%減少)

27年3月 2,992 m³

26年4月 3,367 m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

広島県鋳物工業協同組合

4月から組合員が1社減少し7社になった。

靱鉄鋼協同組合連合会

原材料高に販売価格が連動できない。4月以降、受注が落ち込むと想定されている事業場が多い。

(一般機器)

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区においては、コンプレッサー関係が中操業、製鉄機械、タイヤ機械等は低操業である。それに伴い協力会社各社の操業も同調である。

江波地区においては、航空機関係の高操業に対応するため、人材募集を行っているが、なかなか集まらず、定着率もあまりよくない。

広島県東部機械金属工業協同組合

4月は脚の長い受注のため、仕掛かりが増えて売上に反映できなかったため、前月比 15%減少、前年同月比 14%減少となった。

(電気機器)

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

輸出物件の増加により生産が上がっており、前月比 2%増加、前年同月比 3%増加となった。

人の集まりがよくない。特にパートタイマーの集まりが悪い。賃金の高騰が続いているので、収益や人員確保に大きな問題がでている。賃金の高騰の原因となっているため、人材派遣会社の規制が必要ではないか。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

4月の国内自動車販売台数は全需が 319 千台、前年同月比 7.5%減少と 4ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比 5.0%増加と 9ヶ月振りの前年超え、軽自動車は 22.5%減少と 4ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車は 44.8%増加と 2ヶ月連続の前年超えとなった。

アメリカの3月の全需は 1,546 千台で前年同月比 0.6%増加と 13ヶ月連続の前年越え。マツダ車は同 8.0%減少と 5ヶ月振りの前年割れとなった。

欧州の3月の全需は 1,807 千台で、前年同月比 4.0%増加と 2ヶ月振りの前年超えとなった。マツダ車も同 4.7%増加と 2ヶ月振りの前年超えとなった。

中国の3月の全需は2,423千台で、前年同月比11.7%増加。マツダ車は4.1%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の3月の海外販売合計台数は122千台、前年同月比5.2%増加で21ヶ月連続の前年越えとなった。

マツダは北米・欧州向けの輸出台数が前年比で大幅なマイナスが続き、全体では前年比12.4%減少と8ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダの3月の国内生産台数は、海外拠点での生産拡大により輸出台数が減ったため、前年同月比0.9%減少となり、7ヶ月連続の前年割れとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の平成27年4月の建造許可実績は5隻241,600総トン（前月12隻466,700総トン、前年同月0隻）であった。なお、5隻のうち、1隻が貨物船、4隻が油槽船であり、貨物船は国内線で油槽船は全て輸出船となっている。

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

船舶関連においては、受注はあるが収益性が低下している。

（その他）

●家具・装備品

府中家具工業協同組合

材料費（木材等）が値上がりしている。

広島家具工業協同組合

業況にあまり変化はない。5月開催の見本市に期待している。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

県内景気は底堅く推移している。昨年4月は消費税増税前の駆け込み需要の影響から売上が低迷しているため、前年対比はできないが、百貨店・スーパー等概ね横ばいで推移し、公共投資や設備投資も安定している。但し、中小卸業者は経費面がコストアップとなり収益性は依然厳しい。

「資材関連」においては、2015年の建築着工動向は、新築着工が対前年比5%増加、リフォーム市場は3%増加等需要回復の兆しがある。

「食品」においては、円安により仕入原価が上昇し、販売面は競争が激しく、粗利率が低下、減収益傾向が続いている。

「繊維」においては、婦人下着は、4月が日照時間が短く肌寒い日が多かったため、春物は低調に推移した。

「雑貨」においては、生活雑貨は概ね横ばいで推移、予定されていた仕入商品の値上げは先送りされたようである。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

2015年度の新築着工戸数は、昨年度より5%増加と予測されている。リフォーム市場においては約3%増加、非住宅床面積は2%増加と予測される。

住宅・非住宅共に消費税増税前の反動減から緩やかな回復基調にある。将来に向け、安心、安全、便利、快適、省エネ、環境等あらゆる面から新商品情報を入手し、スキルアップを図り、提案活動を行うことが必要である。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

今年度より加盟店が1社増えた。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

4月に入り、需要増大を期待していたが消費は上向かず、問屋筋では特注分についてのみの販売となっている。全体として勢いは低調である。需要が低調なため、国産市場の畳表価格も当然下落している。

一方中国産地では、公害問題から公害・粉塵対策工事を終えたところから順次操業を再開している。まだ対策工事中の工場では、生産を停止している状態である。

中国産畳表の相場は、四川・寧波とも強めで推移している。一方、今年度はい草の製織をあきらめ、原草を工場の倉庫にしまい込んだ工場も出ている。

（小売業）

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合

4月の売り上げは、前年同月比、前月比共に増加した。これは青果物の相場高の影響が大きい。3月の彼岸頃から4月中旬にかけ、まるで梅雨を思わせるような天候が続き、日照不足による野菜の生育不足で出荷量が激減し、相場を押し上げた。また、去年は消費税増税前の駆け込み需要の反動減により、4月上旬の売上が減少した。4月の前年同月比が増加しているのは、その影響もあると思われる。

協同組合三次ショッピングセンター

昨年3月は、消費税増税前の駆け込み需要により売上が大幅に増加したが、その反動減で4月は減少していた。よって今期4月の売上は、前年同月比では増加となっている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

4月度の販売実績は前年同月比21.6%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比10.6%減少、BDレコーダー同25.8%減少、音響・車載機器同29.5%減少、冷蔵庫同22.2%減少、洗濯機同12.8%減少、エアコン同14.4%減少、エコキュート同17.1%減少、IHクッキングヒーター同20.2%減少となった。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

商店街内の複数の建物、空き家を取り壊され、跡地を無人駐車場として活用している。しかし、値段設定が高めということもあり、稼働率があまりよくないようである。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比14.9%減少、前年同月比6.8%増加。車検場収入は前月比17.7%減少、前年同月比7.9%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比37.0%減少、前年同月比14.9%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

ゴールデンウィーク前の駆け込み需要も少なく、低調である。大型ショッピングセンター工事も一段落している。

●警備業

広島県警備業協同組合

社会保険料の事業者負担が価格に完全に転嫁できない。

●情報サービス

(社) 広島県情報産業協会

業況が安定した中で、JAVA のスキル人材不足が依然として続いている。

(建設業)

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

4 月における工事受注件数は、前月比 34%増加、前年同月比 7%増加となった。

神辺建設業協同組合

新年度に入り各自治体による公共案件の早期発注が期待されていたが、発注件数は各発注機関とも少なく景気の鈍化を感じる。5 月連休明けからの発注案件に引き続き注目していきたい。

広島県室内装飾事業協同組合

4 月の売上については、前月比 31%減少、前年同月比 9%増加となっている。

前月比で見るカーテン工事が 54.6%減少と大きく落ち込み、敷物工事が 6%減少、壁装工事が 2%減少といずれも減少となった。

前年同月比では、カーテン工事については 27%減少と大きく落ち込んだが、敷物工事は 5%増加、壁装工事は 53%増加で推移しており、全体では 9%増加と工事物件は大型物件も含めやや上昇基調にある。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

荷動きは悪い状況である。燃料価格も多少上昇の気配があり、収益は今後下降するとみられる。

松永地区トラック事業協同組合

4 月は例年閑散期であるが、今年は例年以上に貨物量が減少していた。国内の自動車産業が停滞しているからではないかと言われている。どの組合員事業者にも尋ねても、昨年より明らかに低迷していると言われる。原油価格も若干上がってきており、軽油価格も上昇している。4 月は消費税・法人税・労働保険・自動車保険等支払いラッシュとなるため、資金繰りにも苦勞が絶えない。

広島県ロジネット協同組合

4 月の荷動きは 3 月の繁忙期に続き、第 2 週、第 3 週と月末に向かって荷物量は増加していった。また空車情報は依然として少ない傾向は続いているが、昨年と比較してやや増加傾向にあったのではないかという印象である。紙、鉄鋼関連などは堅調であった。また、季節の変わり目でもあり、飲料関連も急激に動きを見せた。

海外原油価格は僅かながら下落しているが、国内メーカーは 1.5 円/L から 2 円/L の値上げ

で推移しており、大きな値上げや値下げはない。週毎に値上げと値下げを繰り返すなど価格変動しており、今後も値動きには注意が必要である。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。
運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比とも公的評価報酬の振り込みがあったため、売上高、収益状況、資金繰りが好転している。鑑定評価の依頼件数等は横ばいである。